

水前寺江津湖公園利活用・保全計画 の見直しについて（骨子）



【はじめに】

・ 現計画について①	・ ・ ・ 3
・ 現計画について②	・ ・ ・ 4
・ 現計画について③	・ ・ ・ 5
・ 主な取組実績について①【保全】	・ ・ ・ 6
・ 主な取組実績について②【利活用】	・ ・ ・ 7

【計画の見直しについて】

・ 現状及び課題①【保全】	・ ・ ・ 8
・ 現状及び課題②【利活用】	・ ・ ・ 9
・ 現状及び課題③【利活用】	・ ・ 10
・ 現状及び課題④【その他】	・ ・ 11
・ アンケート結果 概要	・ ・ 12
・ 基本理念、基本方針	・ ・ 13
・ 水前寺江津湖公園の将来像	・ ・ 14

【計画の見直しについて】

・ 計画の体系	・ ・ ・ 15
・ 計画の構成①	・ ・ ・ 16
・ 計画の構成②	・ ・ ・ 17
・ 施策展開の方向性①	・ ・ ・ 18
・ 施策展開の方向性②	・ ・ ・ 19
・ 施策展開の方向性③	・ ・ ・ 20
・ 施策展開の方向性④	・ ・ ・ 21
・ 施策展開の方向性⑤	・ ・ ・ 22
・ 施策展開の方向性⑥	・ ・ ・ 23
・ 施策展開の方向性⑦	・ ・ ・ 24
・ 計画期間、計画名称	・ ・ ・ 25
・ 今後のスケジュール	・ ・ ・ 26

【参考】

・ アンケート調査①	・ ・ ・ 27
・ アンケート調査②	・ ・ ・ 28
・ アンケート調査③	・ ・ ・ 29

【はじめに】現計画について①

●水前寺江津湖公園について

<地理>

- 本市の中心部から南東へ約5km
- 公園面積126.9haの都市公園（広域公園）
- 湖面面積は約50ha

<環境>

- 1日約47万トン※が湧出する、全国でも有数の湿地（※計画策定時：現在は50万トン以上）
- 希少種や固有種等が生息生育する湖沼や湧水地の一つとして「日本の重要湿地500」に選定

<歴史文化>

- 国指定の名勝・史跡『水前寺成趣園』
- 国指定天然記念物『スイゼンジノリ発生地』
- 加藤清正公時代に築かれたと伝わる『江津塘』など



●計画期間及び位置付け

<計画期間>

- ・令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間
- stage1：令和2年度（2020年度）～令和3年度（2021年度）（全国都市緑化フェアまで）
- stage2：令和4年度（2022年度）～令和11年度（2029年度）

<計画の位置付け>

熊本市第7次総合計画 <目標年次：令和5年度（2023年度）>

【目指すまちの姿】市民が住み続けたい、だれもが住んでみたい、訪れたいまち、「上質な生活都市」

第2次熊本市都市マスタープラン <目標年次：令和7年（2025年）>

【将来像】豊かな水と緑、多様な都市サービスが支える活力ある多核連携都市

水前寺江津湖公園利活用・保全計画（目標年次：令和11年度）

【基本理念】「湧水により育まれてきた自然と人との共生」の継承

熊本市動植物園マスタープラン
（目標年次：令和11年度）

熊本市生物多様性戦略

第3次熊本市環境総合計画

第3次熊本市地下水保全プラン

【はじめに】現計画について②

●基本理念・基本方針・ゾーニング

<基本理念>

「湧水により育まれてきた自然と人との共生」の継承



<基本方針>

自然環境・歴史文化資源の保全

- 基本方針① 大地が育む豊かな水環境と水循環の保全
- 基本方針② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生
- 基本方針③ 歴史・文化の活用と次世代への継承
- 基本方針④ 江津湖の資産・資源の継承と発信

公園の利活用

- 基本方針⑤ 江津湖のポテンシャルを活かした空間の創出
- 基本方針⑥ 適切な公園経営と次世代への資産運用
- 基本方針⑦ 持続性のある運営手法と担い手づくり

<ゾーニング>



【はじめに】現計画について③

●各地区の主要事業イメージ

stage1 : 令和2年度(2020年度)～令和3年度(2021年度)(緑化フェアまで)
stage2 : 令和4年度(2022年度)～令和11年度(2029年度)

森の都「くまもと」

水前寺地区 ～水前寺成趣園と連携した歴史・文化を学ぶ空間～

景観整備

→歩いて楽しめるスポット化

【目標期】stage2

【実施者】熊本市



(散策路)

国際観光重点地域

→外国人観光客の満足度向上

【目標期】stage1

【実施者】熊本市、企業、関連団体



(外国人観光客)

※当該施策は令和5年度末にて熊本市観光マーケティング戦略に包含

地区の一体化

→サイン等による連続性の演出

【目標期】stage1

【実施者】熊本市、企業



(水前寺成趣園サイン)

出水地区 ～自然環境を感じ健康づくりの発信拠点となる空間～

ガイドツアーの実施

→歴史文化資源の魅力発信

【目標期】stage1

※以降も継続

【実施者】熊本市、企業



(ガイドツアー)

旧砂取細川邸庭園の保存活用

→文化財価値の広報・保存・活用

【目標期】stage1

【実施者】熊本市、県立図書館



(旧砂取細川邸庭園)

公園を核とした健康づくり

→体育館と連携したプログラム

【目標期】stage1

※以降も継続

【実施者】熊本市、市体育館



(ヨガ)

上江津地区 ～昔ながらの情緒豊かな風景美と生物多様性を保全する空間～

外来生物の駆除

→生物多様性の保全

【目標期】stage2

※以降も継続

【実施者】熊本市
ボランティア、関連団体



(外来植物の駆除)

ゾウさんプールの再整備

→かつての賑わいを取り戻す

【目標期】stage1

【実施者】熊本市
ボランティア、地域団体



(ゾウさんプール)

森と水の都の発信 ※下江津含む

→イベントを活用した地元農産物の販売
「水の駅」など

【目標期】stage1

※以降も継続

【実施者】熊本市、企業、関連団体



(マルシェ)

下江津地区 ～動植物園と連携した魅力あふれる空間～

情報発信の場づくり

→江津湖の情報を集積発信

【目標期】stage2

【実施者】熊本市、関連団体



(江津湖ジオラマ)

自然環境の保全

→生きものの生息場所の確保

【目標期】stage2

※以降も継続

【実施者】関連団体、熊本市



(水草清掃ボランティア)

動植物園との一体化

→展望デッキの設置など

【目標期】stage1

【実施者】熊本市、企業



(展望デッキ)

広木地区 ～幅広い世代が様々なアクティビティを楽しめる空間～

ヨシ群の保全

→利活用エリアとの明確化

【目標期】stage2

※以降も継続

【実施者】関連団体、熊本市



(ヨシ)

自然観察会の実施

→環境保全へのきっかけ

【目標期】stage1

※以降も継続

【実施者】関連団体、企業、熊本市



(春の草花遊び)

新たな遊び場づくり

→自然に親しむ遊び

【目標期】stage1

※以降も継続

【実施者】熊本市、企業、関連団体



(グランピング)

庄口地区 ～様々な運動を楽しめるプロムナード空間～

地下水の保全・PR ※全域

→熊本の宝の保全

【目標期】stage2

※以降も継続

【実施者】熊本市、関連団体



(湧水)

園路・景観整備

→歩いて楽しめるプロムナード空間

【目標期】stage2

【実施者】熊本市



(水を活かした散策路)

【はじめに】 主な取組実績について①【保全】

●これまでの主な取組実績【保全】

<白川中流域水田湛水事業・水源かん養林整備事業>

- ✓ 本市が取り組む地下水かん養対策は、熊本地域の豊富な地下水量の保全のみならず、近年の江津湖における湧水量の増加にも寄与。

白川中流域水田湛水

OR 6 水田湛水延面積:525ha

OR 6 推定かん養量:1,732万m³

水源かん養林

OR 6 整備面積：3.1ha

(累計887ha)

OR 6 推定かん養量：592万m³

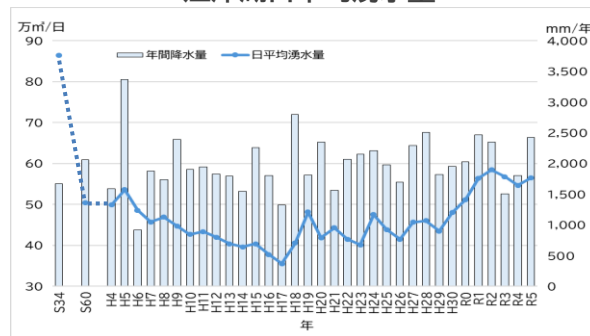
<指定外来魚の駆除>

- ✓ 電気ショッカー船を用いた魚類の生息状況調査（年4回）、指定外来魚の駆除（年20回）を実施。
- ✓ 江津湖に回収いけす10か所、回収箱を1か所設置し、市民協働による指定外来魚の駆除を実施。
- ✓ これまでの取組により、江津湖の魚類に占める指定外来魚の割合は、ピーク時の平成27年度の8.5%から令和6年度は3.9%に減少し、一定の効果があつた。

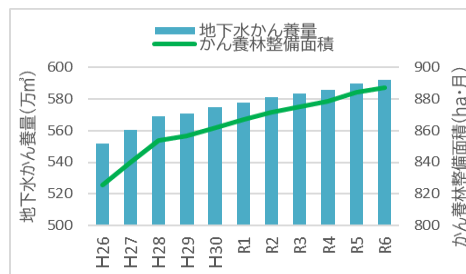
○ R 6 指定外来魚駆除数：1,811匹

R 6 指定外来魚割合：3.9%

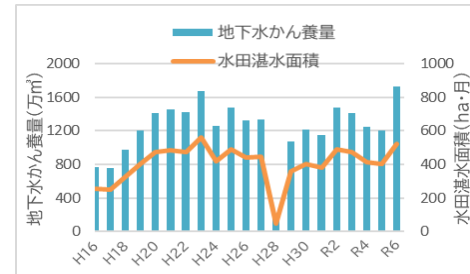
江津湖日平均湧水量



水源かん養林整備事業



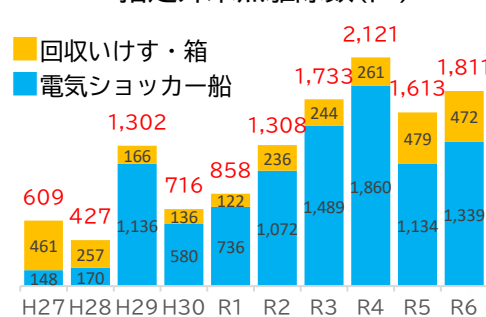
白川中流域水田湛水事業



条例で放流・再放流を規制する指定外来魚6種



指定外来魚駆除数(匹)



電気ショッカー船

【はじめに】 主な取組実績について②【利活用】

●これまでの主な取組実績【利活用】

＜全国都市緑化フェアの開催＞ 2022年3月19日から5月22日 来場者:168.5万人



植物園



水前寺成趣園表参道

＜民間の力を活用した公園利活用の促進＞



江津湖



江津湖

計画の見直しについて 現状及び課題①【保全】

●現状及び課題【保全】

① 外来水草の繁茂

- ・外来水草の繁茂により、在来希少種の生育環境が縮小・悪化している。
- ・公園利用への支障が生じ、水草処分量が増加している。

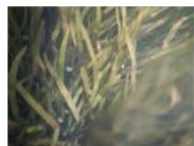
➡沈水性の外来水草は、水草刈取り船やボランティアによる駆除が困難なため、抜本的な駆除が必要。

➡新たな外来植物の侵入防止が必要。

【主な外来水草】



湖面を浮遊する
ホトケシザメ・ヨシガイロ



湖底に繁茂する
ヨシガイロ



水際から湖面に広がる
フナギル



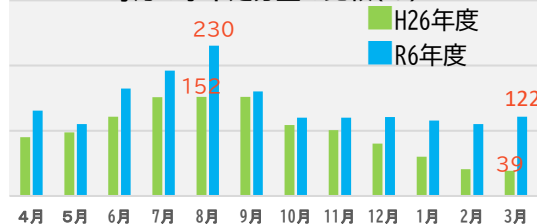
水際から陸に繁茂する
カエリ

【水草処分量の比較】

水草処分量(合計)	
H26年度	R6年度
1,195 t	1,697 t

➡
1.4倍に増加

毎月の水草処分量の比較(t)



② 植物が腐敗したヘドロ等の堆積

- ・R7調査の結果、湖底全体に堆積物が広がり、一部では植物の腐敗が進んでいる状況が確認された。
- ・植物の腐敗物や陸地化により、水生動植物の生育環境が縮小・悪化している。

➡堆積物への対策が必要。



(上江津湖・健軍川河口部分)
県浚渫後に再度流入土砂が堆積



(下江津湖)
湖岸に腐敗して堆積する水草

③ 外来魚駆除

- ・駆除により外来魚は減少し、低密度管理を維持している。

➡電気ショッカー船では稚魚の駆除が難しいため、新たな駆除方法の検討が必要。

➡市民協働による駆除の参加者が固定化しているため、普及啓発の強化が必要。



指定外来魚の割合が、取組を開始した平成27年度(8.5%)を下回り、低密度管理ができている



指定外来魚のリリース禁止を呼びかける看板

計画の見直しについて 現状及び課題②【利活用】

●現状及び課題【利活用】

① 利用者数の減少傾向

・公園利用者は、全体として減少傾向。

➡自然環境を適切に保全・再生しつつ、回遊性向上や魅力磨き上げを行うことでより多くの利用者を獲得することが重要。

② 大規模イベント等との連携

・令和4年度開催の全国都市緑化熊本フェアでは各種イベント、施設整備、ボランティア等を実施。多くの利用者が来場。
(水辺エリアとして約2か月で約50万人)

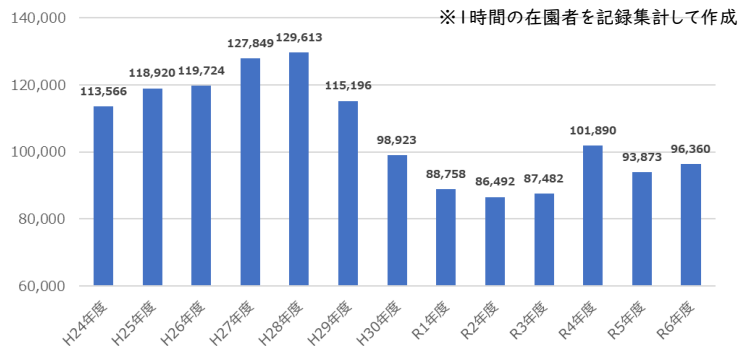
➡今後も多くの大規模イベント等と連携し各種整備や利用者数向上を図ることが重要。

③ 公園周辺の回遊性

・公園は広範であり、例えば、水前寺成趣園から下江津湖まで約1時間(4km)必要。

➡観光等でも気軽に公園を利用できるよう、回遊性向上の取組が重要。

水前寺江津湖公園年度別利用者数(人)



(例)水前寺成趣園
⇔下江津湖(広木地区)
は、徒歩約1時間(約4km)

計画の見直しについて 現状及び課題③【利活用】

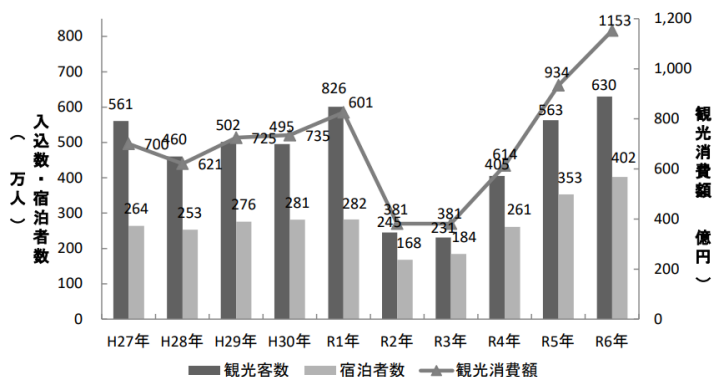
●現状及び課題【利活用】

④ 歴史・文化・観光価値の発信

・本市観光客数は大幅に増加傾向にあるが、増加は熊本城が主であり、水前寺江津湖周辺は減少傾向。

➡観光及び文化的価値を発信・体験できる取組の検討・実施が重要。

【観光客入込数・宿泊者数・観光消費額の推移】

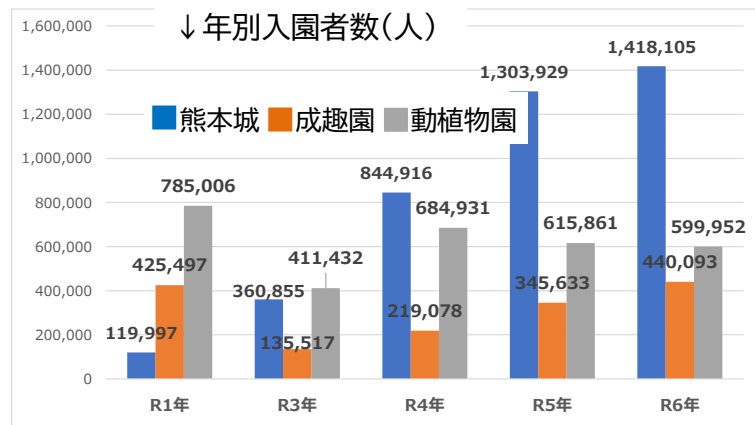


⑤ 更なる利活用に向けた官民連携など

・水前寺江津湖公園においては、キッチンカーの社会実験やPark-PFI等官民連携の取組を実施しているが、売上が少ないことや、周知不足が顕在。

・その一方、週末には公園の駐車場が不足するなど、容量不足が発生している状況。

➡民間による利活用促進に向けた周知やピーク時の駐車場の拡充等検討が重要。



計画の見直しについて 現状及び課題④【その他】

●現状及び課題【その他】

・防災と避難のバランスについて

水前寺江津湖公園は、地震時の一時避難場所、広域避難場所に指定されている一方で、江津湖は河川であることから、豪雨時には冠水を避けられない。それらを踏まえ、避難手法などの周知など、防災について、ハード面とソフト面でのバランスを検討するなどの対応が必要

※8月の豪雨においては、江津湖公園(広木地区など)において、最大1.5m程度冠水。



計画の見直しについて（アンケート結果概要）

1. アンケート概要

■調査目的

本計画改定に向け、江津湖の利活用及び環境保全の取り組みについて市民意見を把握するため

■調査期間

令和7年(2025年)9月12日～9月23日

■調査方法

WEBによる調査票の回答

■回答数

1207件

2. 回答者の基本情報

①性別

男性, 45%	女性, 53%	答えたくない, 2%
---------	---------	------------

②年齢

10代 0.50%	20代 4%	30代 14%	40代 19%	50代 25%	60代 22%	70代 14%	答えたくない, 2%
--------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

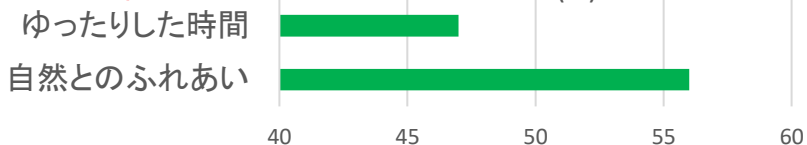
③お住まい

中央区, 33%	東区, 31%	西区, 9%	北区, 8%	南区, 12%	熊本県外, 0.3%	答えたくない, 1.3%	熊本市外, 4%
----------	---------	--------	--------	---------	------------	--------------	----------

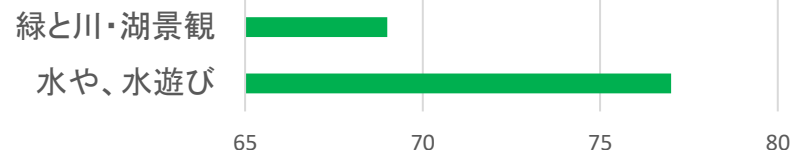
3. アンケート結果抜粋

（抜粋したアンケートの中で回答が多かった2項目のみ抜粋。）

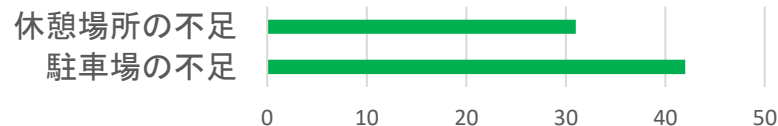
○どのような**目的**で利用していますか？ 割合(%)



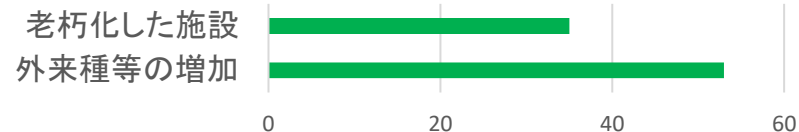
○**魅力**はどこにあると思いますか？ 割合(%)



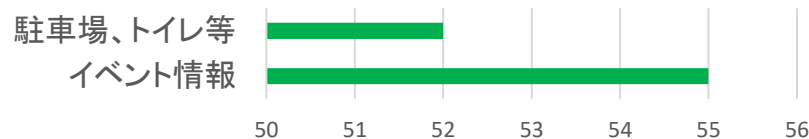
○**不満**な点は？ 割合(%)



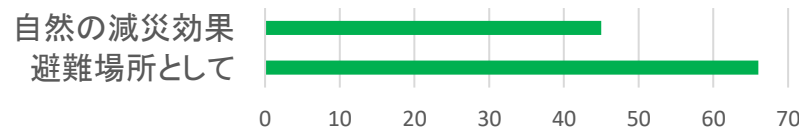
○**改善**したい点は？ 割合(%)



○**知りたい場所**はありますか？ 割合(%)



○**防災・減災で期待**するものは何ですか？ 割合(%)



計画の見直しについて（基本理念、基本方針）

●基本理念について

- ・計画の基本理念については長期間かけて実現していくべきものであることから、基本的に変更は行わず、計画期間ごとに検証を行う。

基本理念：「湧水により育まれてきた自然と人との共生」の継承

●基本方針について

- ・基本方針については中長期的に見直しや検証を行う必要があることから、5～10年程度で情勢の変化等を踏まえ検証や見直しを行う。

【基本方針の見直しイメージ】

自然環境・歴史文化資源の保全

- 基本方針① 大地が育む豊かな水環境と水循環の保全
- 基本方針② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生
- 基本方針③ 歴史・文化の活用と次世代への継承
- 基本方針④ 江津湖の資産・資源の継承と発信

公園の利活用

- 基本方針⑤ 江津湖のポテンシャルを活かした空間の創出
- 基本方針⑥ 適切な公園経営と次世代への資産運用
- 基本方針⑦ 持続性のある運営手法と担い手づくり

自然環境の保全

- 基本方針① 清らかで豊かな地下水と健全な水循環の保全
- 基本方針② 生物多様性の保全及び自然と人との共存・共生
- 基本方針③ 市民協働による自然環境の保全・再生

公園・歴史文化観光資源の利活用

- 基本方針④ 多様な主体・イベント等との更なる連携
- 基本方針⑤ ポテンシャルを活かした空間の
利活用・回遊性の抜本的向上
- 基本方針⑥ 歴史・文化・観光的価値の継承と活用
- 基本方針⑦ 持続的な公園経営・次世代の担い手の育成

計画の見直しについて 水前寺江津湖公園の将来像

●水前寺江津湖公園の将来像（イメージ）

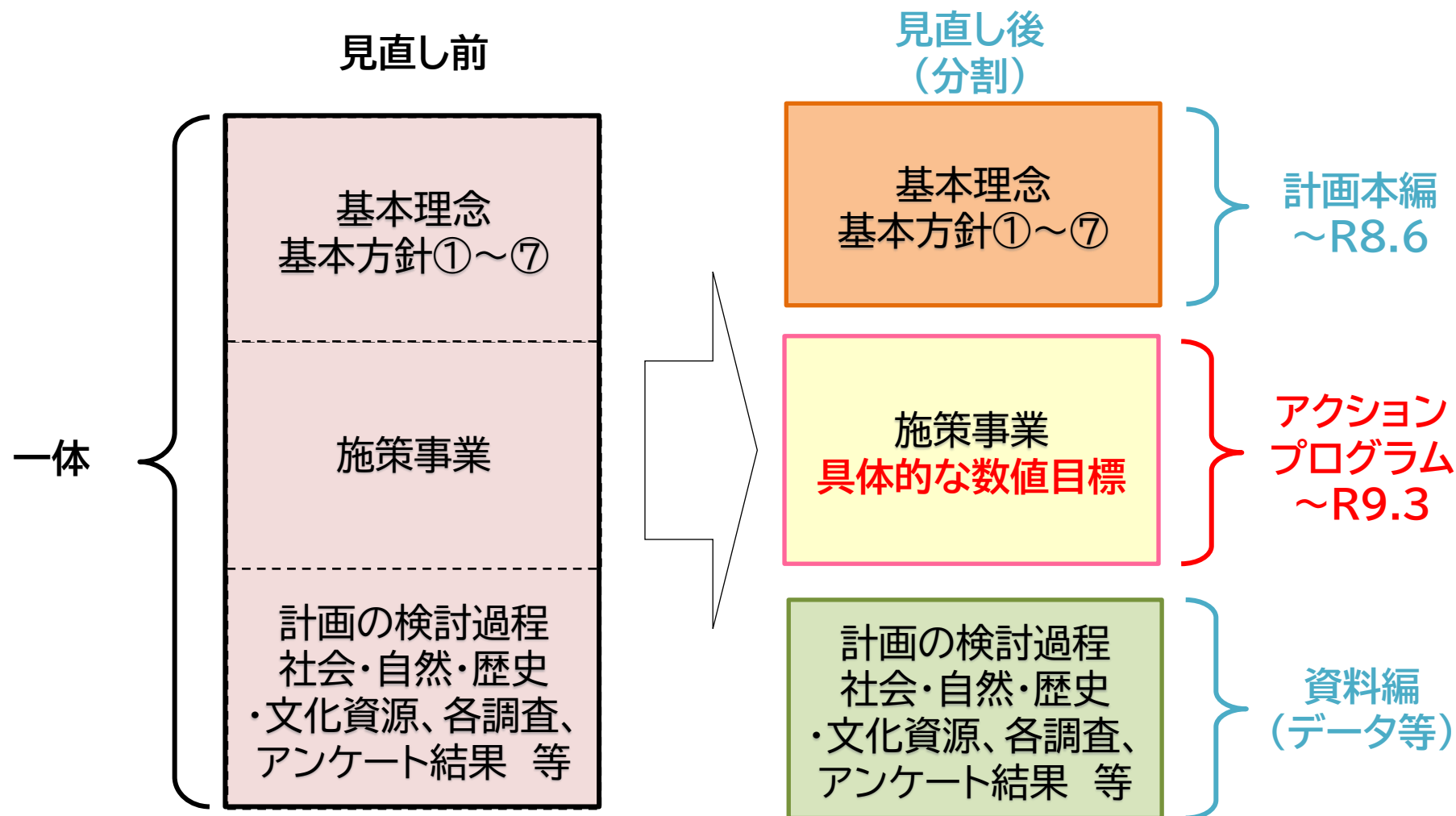
・各基本方針に沿った事業を積み重ねることで、右図に示すような魅力ある公園の姿を目指します。



計画の見直しについて（計画の体系）

●計画の体系について

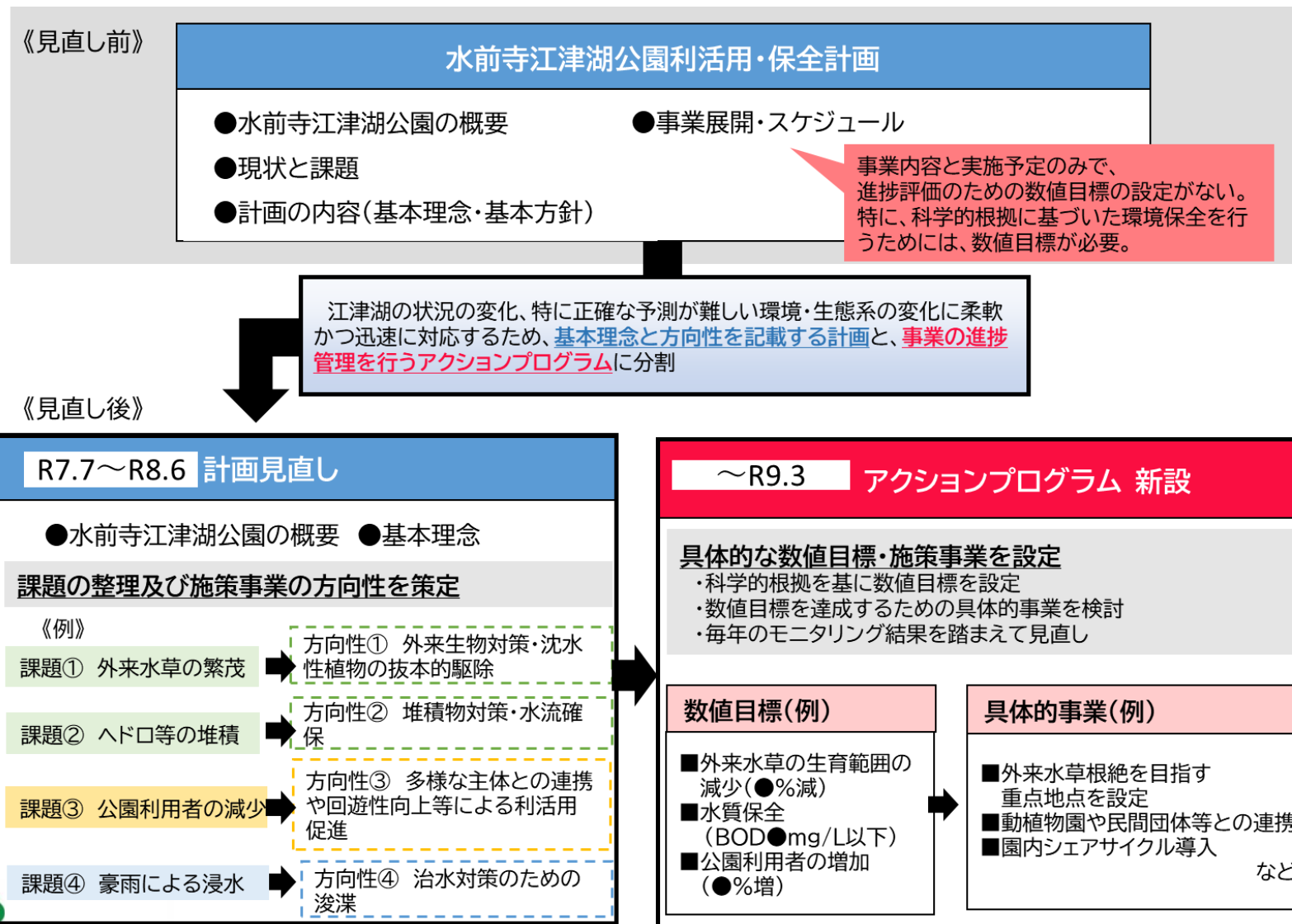
・江津湖の環境・生態系の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、本編とアクションプログラムに分け、目標達成の状況を可視化し、管理を行う。



計画の見直しについて 計画の構成①

●計画の構成について

- ・本編とアクションプログラムを切り分け、目標達成の状況を可視化し、管理を行う。



計画の見直しについて 計画の構成②

●計画の構成について

- ・現計画は現在5章約70ページで構成され、計画のポイント(目標、方針、期間等)が市民に伝わりにくい一方、市民や関係者から“臨機応変な対応”や“内容の充実”を求められている。
- ・今回改定にて計画を本編・アクションプログラム・資料集に分冊化し、わかりやすさ向上、臨機応変な対応及び内容の充実化を図る。

【現在】

【水前寺江津湖公園利活用・保全計画】

1. 水前寺江津湖公園の概要

- 1-1 位置及び公園概要
- 1-2 かつての江津湖
- 1-3 管理区分
- 1-4 交通アクセス
- 1-5 法的規制
- 1-6 地域資源(社会的資源、自然的資源、歴史的・文化的資源)

+α

2. 現状と課題

- 2-1 水前寺江津湖公園の抱える課題
- 2-2 課題の整理

+α

3. 計画の内容

- 3-1 計画の概要
- 3-2 計画の位置づけ
- 3-3 基本理念・基本方針
- 3-4 ゾーニング
- 3-5 地区別の方針と主要事業イメージ

4. 事業展開

- 4-1 事業展開スケジュール
- 4-2 計画推進体制

5. 資料編

- 5-1 検討体制
- 5-2 課題の整理
- 5-3 イベントガイドライン

+α

【改定イメージ】

【水前寺江津湖公園利活用・保全計画(本編)】 R8.6 ~(仮称)江津湖再生プロジェクト~ ※20ページ程度

- 水前寺江津湖公園の概要
- 現状と課題
- 計画の概要(位置付け・基本理念・基本方針・ゾーニングなど)
- 主な事業・今後の進め方 など

【💡Point】一般の市民が参画・理解しやすいようにわかりやすさを追求

【水前寺江津湖公園利活用・保全計画】 R9.3 (アクションプログラム) ※8~15ページ程度

- 具体的な事業(事業名・主な主体・スケジュールなど)
- 効果目標・取組目標
- 各地区での事業 など

【💡Point】目標を追加、臨機応変に対応できるよう年度ごとに確認・修正
市民・団体等が参画しやすくなるよう実施主体を明記

【水前寺江津湖公園利活用・保全計画】 (資料集) ※100ページ以上

- 計画の検討過程・体制など
- 社会・自然・歴史・文化資源について
- 各イベントの概要・江津湖周辺の動植物調査結果
- アンケート結果・用語解説 など

【💡Point】記録・学習資料としての活用を見込み内容を充実化

計画の見直しについて 施策展開の方向性①

●施策展開の方向性【保全】

森の都「くまもと」

① 清らかで豊かな地下水と健全な水循環の保全

- ・ 地下水の量と質の保全に取り組み、健全な水循環の確保を図る。

【取組の例（イメージ）】

●地下水量の保全

- ☐ 白川中流域水田湛水事業の推進
- ☐ 水源かん養林の拡大
- ☐ 節水や雨水利用の促進



●河川や地下水の水質の保全

- ☐ 河川・地下水の水質保全（監視や排水規制等）、硝酸性窒素対策の推進



●上流域の自治体や関係機関との連携による、市民の意識啓発・醸成

- ☐ 熊本地域の水循環を学ぶイベント等の実施



計画の見直しについて（施策展開の方向性②）

●施策展開の方向性【保全】

② 生物多様性の保全及び自然と人との共存・共生

森の都「くまもと」

- ・ 江津湖が誇る豊かな自然環境と多様な生きものを将来に引き継ぐため、在来種の生息・生育環境の保全・再生を進めるとともに、生態系を脅かす外来生物の防除に取り組む。
- ・ 自然との共生としてハード、ソフトからなる治水、防災対策にも取り組む。

【取組の例（イメージ）】

●在来種の生息・生育環境の保全・再生

- ☐ ヘドロ対策の実施
- ☐ 在来種のモニタリング調査



●外来生物対策

- ☐ 電気ショッカー船や人工産卵床を用いた外来魚駆除
- ☐ 回収いけすを用いた市民協働による外来魚駆除
- ☐ 湖底に繁茂する沈水性外来植物の抜本的な駆除



●生物多様性保全の普及啓発

- ☐ 外来種を自然環境に放出しないための普及啓発
- ☐ 釣り人のマナーの普及啓発

●治水対策・防災の取組

- ☐ 浚渫による治水対策への寄与
- ☐ 防災意識を高めるイベントの実施



計画の見直しについて 施策展開の方向性③

●施策展開の方向性【保全】



③ 市民協働による自然環境の保全・再生

- ・ 市民や事業者と協力・連携し、自然環境の保全再生に取り組む。

【取組の例（イメージ）】

●江津湖の自然環境の魅力発信

- ☐ 江津湖の自然や生物に関する情報の発信
- ☐ 江津湖の豊かな湧水や生物多様性に触れることができる親水エリアを創出



●担い手の発掘・育成

- ☐ イベントを通じた新たな釣り人（外来魚駆除の担い手）の獲得
- ☐ 江津湖の自然を体験し、学ぶ機会の創出



●江津湖への想いを実現できる仕組みづくり

- ☐ ボランティア活動の募集情報等を集約・発信
- ☐ 企業版ふるさと納税等の寄付制度を創設



計画の見直しについて 施策展開の方向性④

●施策展開の方向性【利活用】

④ 多様な主体・イベント等との更なる連携



・2029年度に開園100周年を迎える動植物園や、水前寺成趣園などと連携を検討しているくまもと花博など、多様な主体、イベント等と更なる連携を図る。

【取組の例（イメージ）】

●開園100年に併せた ゾウさんプールの改修・拡充



●公園に動物(ARなど) が登場



●動植物園との広報連携

本園のイベント情報
熊本県立動物園

総合案内 | 動物園の紹介 | 動物園で遊ぼう | 動物園の施設とあるべき姿 | 園内について | ブログ

イベントカレンダー

現在の月 5月 2025

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 動物園の施設とあるべき姿	2 動物園で遊ぼう	3 動物園の施設とあるべき姿
4 動物園の施設とあるべき姿	5 動物園で遊ぼう	6 動物園の施設とあるべき姿	7 動物園で遊ぼう	8 動物園の施設とあるべき姿	9 動物園で遊ぼう	10 動物園の施設とあるべき姿
11 動物園の施設とあるべき姿	12 動物園で遊ぼう	13 動物園の施設とあるべき姿	14 動物園で遊ぼう	15 動物園の施設とあるべき姿	16 動物園で遊ぼう	17 動物園の施設とあるべき姿
18 動物園の施設とあるべき姿	19 動物園で遊ぼう	20 動物園の施設とあるべき姿	21 動物園で遊ぼう	22 動物園の施設とあるべき姿	23 動物園で遊ぼう	24 動物園の施設とあるべき姿
25 動物園の施設とあるべき姿	26 動物園で遊ぼう	27 動物園の施設とあるべき姿	28 動物園で遊ぼう	29 動物園の施設とあるべき姿	30 動物園で遊ぼう	31 動物園の施設とあるべき姿

●ビュースポットの設定



計画の見直しについて 施策展開の方向性⑤

●施策展開の方向性【利活用】

⑤ ポテンシャルを活かした空間の利活用・回遊性の抜本的向上

- ・水面等ポテンシャルを活かした利活用に加え、船舶や自転車等も含めた回遊性の抜本的向上を図る。

【取組の例（イメージ）】

●江津湖回遊船の導入



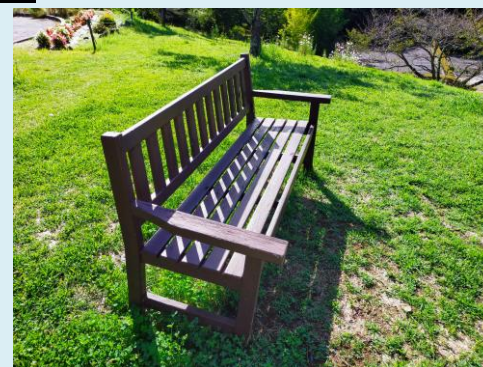
●公園路等のバリアフリー化



●シェアサイクルの導入



●周遊コースに休憩所（ベンチ等）追加



計画の見直しについて 施策展開の方向性⑥

●施策展開の方向性【利活用】

⑥ 歴史・文化・観光価値の継承と活用

- ・歴史、文化面などからの更なる活用を図ることで、今後も増加が見込まれる観光客の、水前寺周辺への訪問を促す。

【取組の例（イメージ）】

●看板・アプリ等多言語化



●歴史・文化巡りイベント等 (ウォークラリーなど)



●サイクルロードの設定・整備



●歴史文化を感じる街並化 (旧砂取細川庭園復元など)



計画の見直しについて 施策展開の方向性⑦

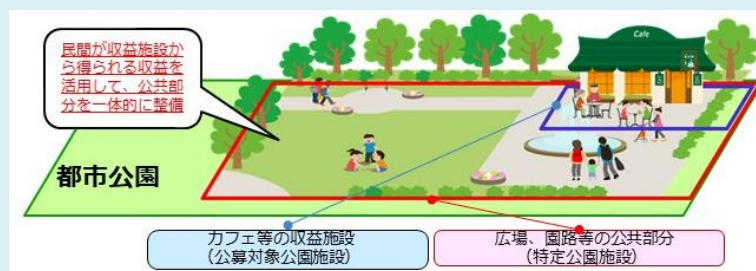
●施策展開の方向性【利活用】

⑦ 持続的な公園経営・次世代の担い手の育成

- ・江津湖公園を稼げる場所とし、持続的な経営を可能とするため、更なる民間事業や利活用の確保促進を図る。

【取組の例（イメージ）】

●Park-PFI実施の検討



●駐車場拡充及び運営方法の検討



●キッチンカーなどの更なる拡充



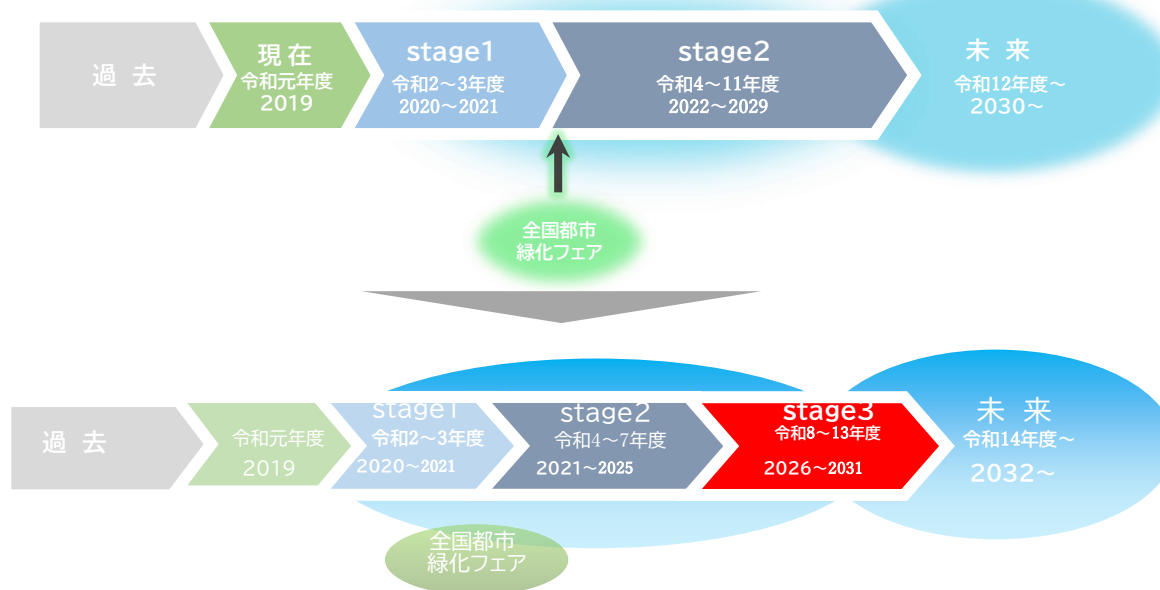
●広報システムの構築



計画の見直しについて（計画期間、計画名称）

●計画期間について

- ・今回の見直しに伴い、熊本市総合計画の期間に合わせる。



●計画の名称について

- ・計画名(水前寺江津湖公園利活用・保全計画)について、市、市民、事業者等が一丸となって取り組むことや、市民への浸透などを目的として、愛称を検討。今後の協議会等での意見を踏まえ選定予定。

【名称（案）】

- 1)みんなの江津湖リニューアル大作戦（335件）
- 2)江津湖グリーンビジョン（276件）
- 3)江津湖みずのわアクション（202件）

※アンケートの自由記載欄では、「江津湖再生プロジェクト」の回答が多かった。

計画の見直しについて 今後のスケジュール

●今後のスケジュール

- ・基本計画(本編)は令和8年6月に改定
- ・アクションプログラムについては令和8年度末に策定
- ・都市建設局、環境局及び経済観光局を中心とした、12局27課でプロジェクトチームを組織し、緊密な連携のもと、一体となって計画の見直しに取り組む。



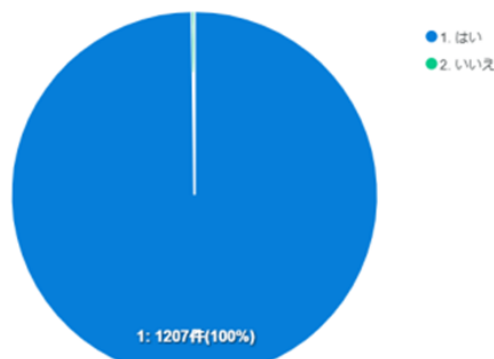
R8.6本編改定

R9.3アクション
プログラム策定

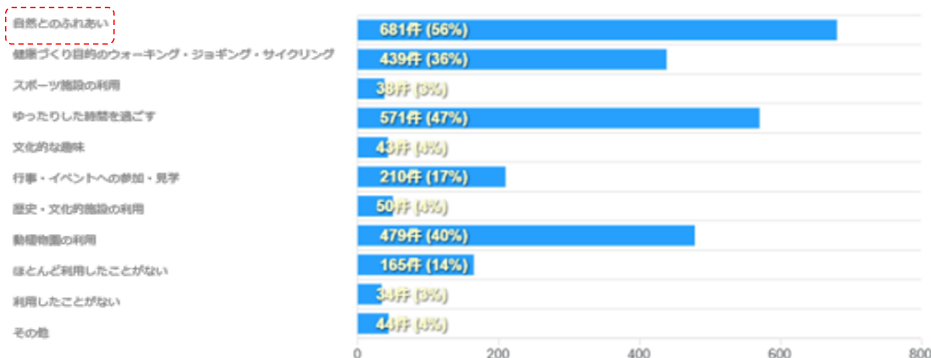
【参考】アンケート調査

●アンケート調査結果

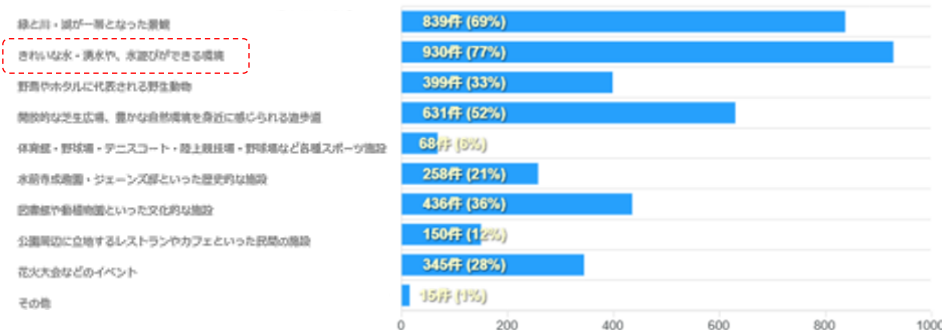
江津湖をご存じですか？



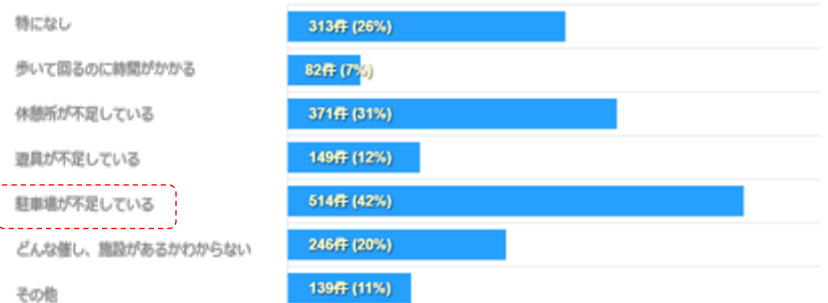
主にどのような利用目的で利用していますか？（複数選択可）



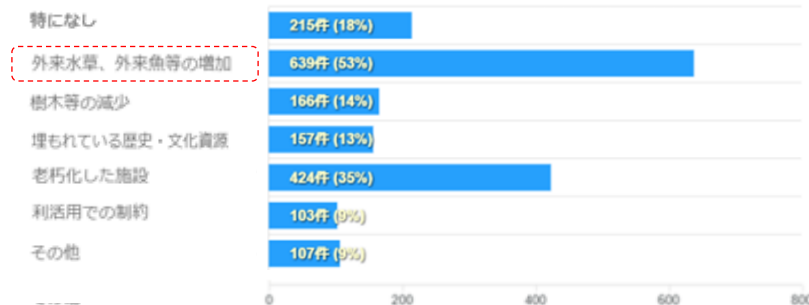
「魅力」はどこにあると感じますか？（複数選択可）



江津湖を利用する点で不満な点は？（複数選択可）



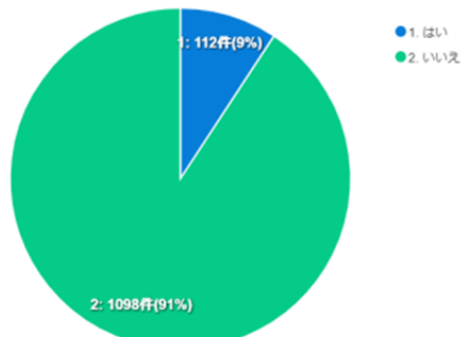
改善したいところは？（複数選択可）



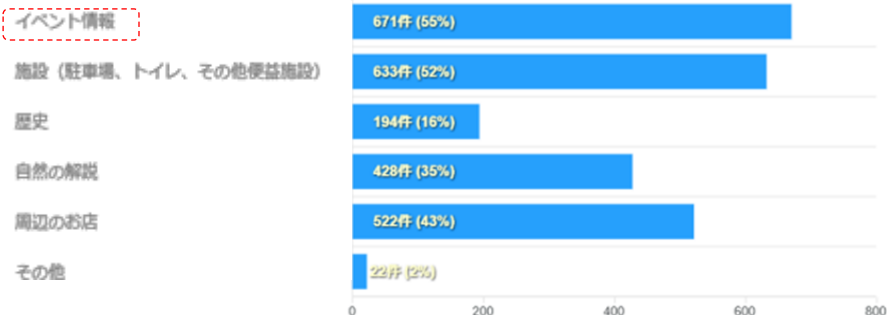
【参考】アンケート調査

●アンケート調査結果

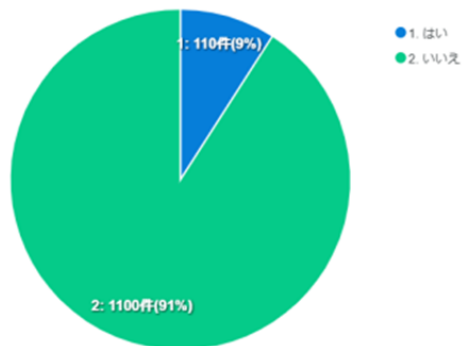
江津湖の情報や周辺施設の情報を掲載している、EzukoナビというHPをご存じですか？



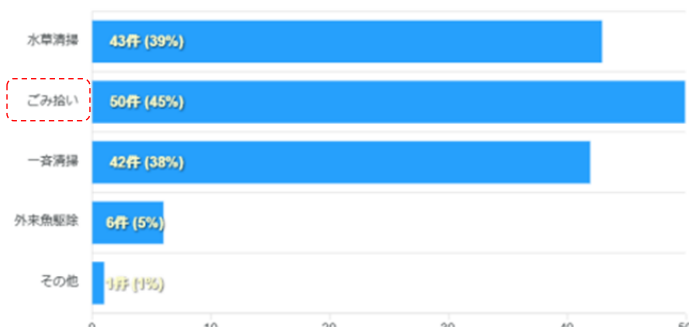
江津湖を利用するにあたり知りたい情報はありますか？（複数選択可）



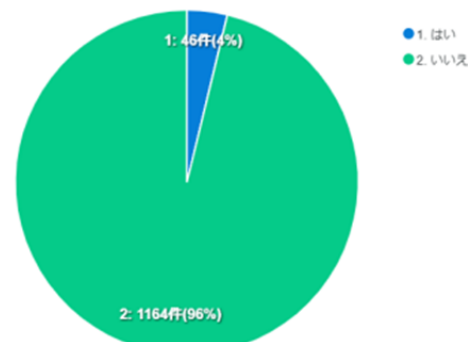
過去5年間に江津湖における環境保全活動に参加したことはありますか？



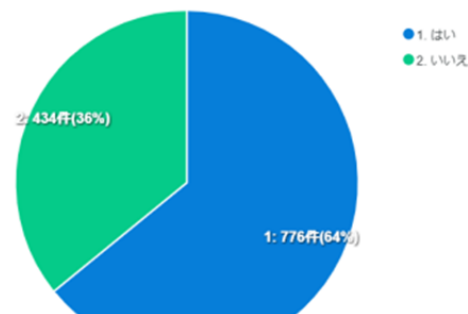
参加したのはどのような内容ですか？（複数選択可）



過去5年間に江津湖における自然観察会等の環境学習や環境保全に関するイベントに参加したことがありますか？



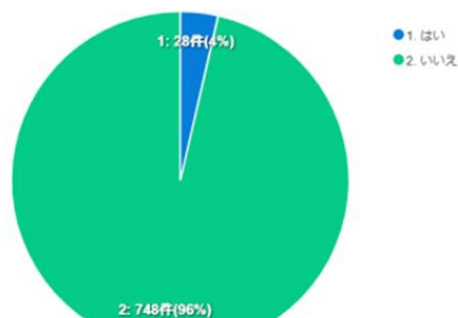
江津湖では条例により指定外来魚6種（オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ、ジリティラピア、ナイルティラピア、カムルチー）のリリース（再放流）を禁止し、駆除を行っていることをご存じですか？



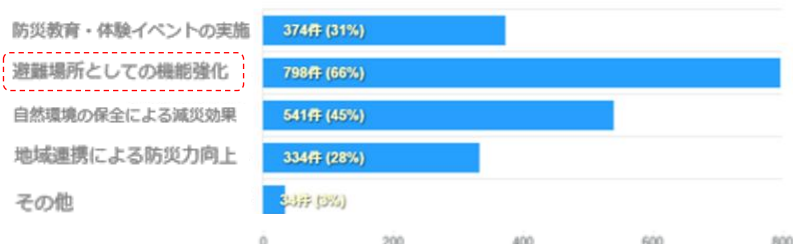
【参考】アンケート調査

●アンケート調査結果

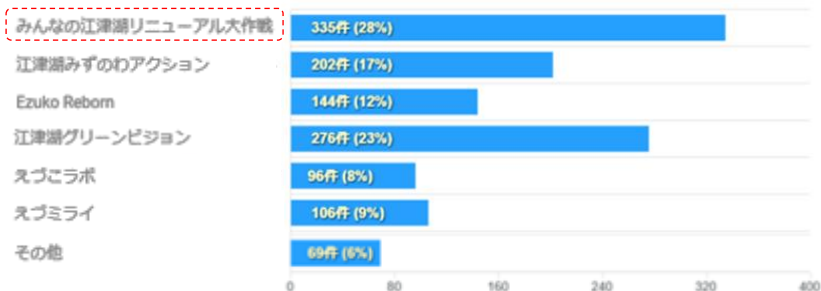
指定外来魚の回収いけすや回収箱を利用したことはありますか？



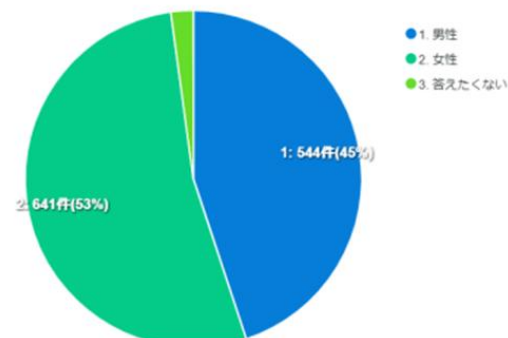
熊本地震の際は駐車場を開放し車中泊を可能としました。その他、防災・減災の視点で江津湖に期待は何ですか？（複数選択可）



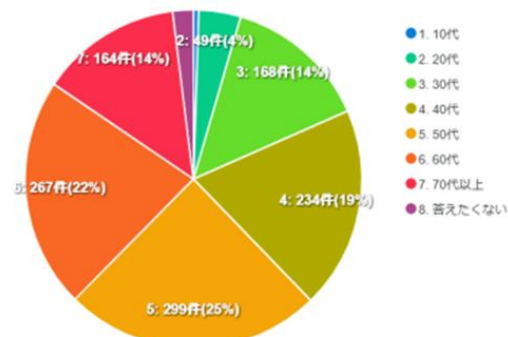
江津湖をみんなで再生していくためのプロジェクトの名称について、どんな名前がいいと思いますか？



性別



年齢



住所

